

[15\_1] 図書館情報 : 九州大学附属図書館報 :  
15(1)

<https://doi.org/10.15017/18308>

---

出版情報 : 図書館情報. 15 (1), pp.1-12, 1979-03-31. 九州大学附属図書館  
バージョン :  
権利関係 :

# 図書館情報

1979. 1~3

The Kyushu University Library Bulletin

Vol. 15, No. 1

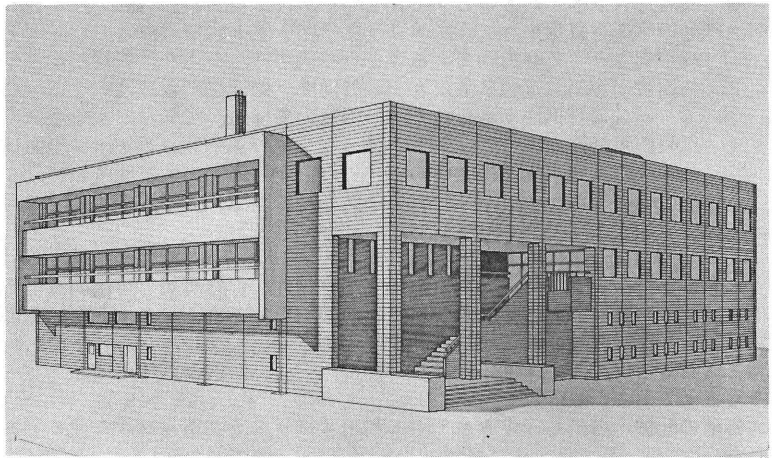
## 新教養部分館の建設計画について

中 村 正 夫

長い間待望されていた「教養部分館」がいよいよ建設されることになった。場所はほぼ現在地、地上3階の鉄筋コンクリート建てで床面積は約5,150㎡、これまでの約3.5倍に拡張される予定である。

### 沿革及び実況

建設計画の内容を紹介する前に、この際、教養部分館の沿革及び実況について述べておきたい。周知のように、本分館はもともと旧制福岡高等学校の創立にあたり、図書館及び講堂として建設されたものである。すなわち大正11年4月の開



教養部分館完成予想図

校にややおくれて同年7月16日にまず書庫(倉庫建, RC-2, 165/165㎡)が竣工し、翌12年8月に講堂(事務所建, W-1, スレート葺, 442/692㎡)と図書閲覧室(事務所建, W-1, 基礎レンガ積, 一部鉄筋, 231/305㎡), それに渡廊下2カ所(雑屋建, W-1, 各3/3㎡)が竣工している。なお新分館の建設用地にかかるため、今回同時に取こわしとなる隣接の柔剣道場(事務所建, W-1, 277/277㎡)は書庫と一緒に11年7月に竣工をみている。

さて昭和24年、福高は新制九州大学教養部の発足とともにその第一分校となり、それによっても上記の各施設も同年5月31日をもって所属替えされた。しかしなおその実態においては何ら変化がなかったといつてよいが、26年3月に第三分校が廃止され、30年10月に第二分校の第一分校統合となるや、教職員200余名、学生2,400余名、図書約58,000冊に急膨張した新分校の図書室としては余りにも狭隘にすぎることとなった。そこで早々に増築されたのが書庫(RC-2, 83/165㎡), 図書閲覧室(RC-2, 73/150㎡), 渡廊下・便所(W-1, 9/9㎡)及び渡廊下(W-1, 14/14㎡)で、31年3月31日に完工した。またこのときから名目はそのままだが講堂の床部分をほぼ全面的に学生の間覧室兼自習室に転用すべく、机・いすその他を配置した。だがそうした増築転用も付け焼刃にすぎず、むしろ年を追うて増加する学生、教職員の実要求には遠のくばかりであり、しかも建物の老朽化も目立った。

むろんそうした窮状は分校統合時点から予想されたことでもあった。しかし、問題解決のためには何よりもまず、教養部図書室として対処すべき当面の課題をかかえていた。九州大学附属図書館教養部分館としての再編である。それには医学部が創立50周年記念事業の一環として中央図書館の新設を計画し、その第1期工事が完了した直後の31年7月、あらためて医学部分館としての再編を認可され、さらに翌年にかけて拡充のための第2期工事が行われたことが有力な刺激になった。また教養部自体にも分館化による特有のメリットをひかえていた。つまり当時の規模からしても職員定数12~3名を必要とするのに実際は7~8名(現在も同じ)にすぎないこと、従来学校が異なっていたため図書の整理方法がそれぞれ色々と本館からもその指導が困難であったこと、分館にすればその点本館からの十分な指導も得られるし、人事の交流も可能となる、というようなものであった。こうして33年10月、教養部から「分校統合に伴ない図書室関係の機構を充実するため、教養部に図書館分館を設置されたい」との要望を附属図書館長に提出、医学部分館に準じた覚書にもつぎ、翌34年3月16日付けをもって正式に設置をみた。いらい今日まで教養

部分館新営の願望が強く打ち出されながら、ひとつには講義室、教官研究室、理科系実験室、厚生補導施設等の整備拡充を優先させなければならなかったという内部事情、あるいはキャンパス移転問題の発生、さらには講堂の文化財的保存の提案などがからまって、なかなか実現の目度を見ることができなかった。それにしても、教養部分館の運営はますます行き詰まり、ここ2,3年というもの分館新営は教養部あげての切望とされてきたところであった。

### 建設計画の概要

教養部分館の建設は昭和53年度概算要求がいったん見送りとなったのち、さいわい本年になって全学的な支持を受けることができ、急転して実現の運びとなった。ころみに10月16日付け『文教速報』をみると、「R3 2,060㎡(5,150㎡)」となっている。7月末日内示があった段階から、まず位置の最終決定のための部内調整をはかり、その後内部構造の検討に移り、数次にわたる審議を経て一応の成案をみるにいたったものであるが、以下その内容について概要を紹介しよう。

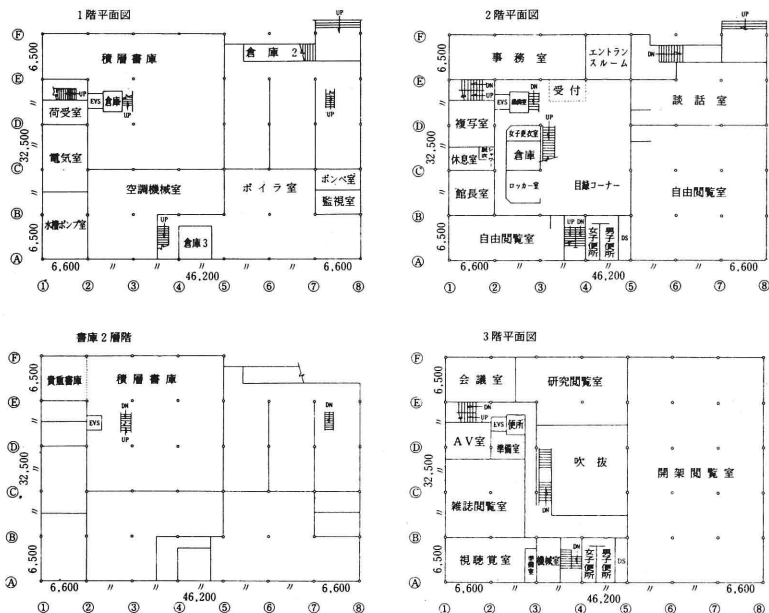
**基本構想** 教養部の図書館として特色のあるものにした、学習図書館機能を重視し、なおかつ研究図書館的機能をも兼ね備えたものとする。そのためには現実の制約的条件がいろいろあるが、できるだけあるべき理念の実現を目指すべく、次のようなことを基本的留意点とした。

- (1) 利用者にとって魅力的であること——快適性、文化性、美観、ゆとり、など
- (2) 利用者が容易に近づくこと——利便性、機能性、親近性、など
- (3) スペースに互換性があること——用途の多様化、変動に応ずる壁面の設置、経済性、など
- (4) 拡張の可能性があること——収蔵スペースのキャパシティーは当面15年位の見込みとする
- (5) 身障者の利用に支障のないこと——車いすによる出入、便所の特設など
- (6) その他教養部キャンパスの立地条件から、空調、除湿設備及び騒音対策(二重窓など)にはとくに完全を期すること

こうして地上3階のうち、1階は半分に仕切って一方を教養部本館、その他の空調機械室等にあて、残る半分は2層の書庫スペース、2階に玄関を設け、管理部門と自由閲覧室その他、3階は開架閲覧室その他となるが、最優先としているのがこの開架閲覧室である。また新しい図書館資料の活用場として視聴覚室やAV室(視聴覚機器を個人的に利用する部屋)を設置し、将来の研究教育に備える。

なお新分館は東側が正面で道路より10m以上西に引込み、その間がグリーン・ベルトとなって外観を整えるはずである。

**各階の配置** 各階に予定されている利用スペース及び用途は次の通りである。それぞれ平面図を参照されたい。



### 1 階

**書庫:** 東側半分にて2層の積層書庫、収蔵力は約290,000冊を見込んでいます。**貴重書庫:** 東北隅に収蔵力約10,000冊の貴重書庫を設ける。

書庫にはこのほか各層とも窓際にオープン・キャレル約24席を備えるほか、除湿及び吸排気のための器

機を設備する。

**職員出入口**（身障者の出入口，業者の出入口を兼ねる）：北側に専用出入口をつける。身障者はここからインター・フォンで閲覧掛に連絡，エレベーターで閲覧室に導かれる。業者は通常階段を利用してもらうが，大量の荷物がある場合にはエレベーターによる。

**荷受室**：職員出入口の横に受入図書のための荷受室を設ける。

なお1階の西側半分は電気室・水槽ポンプ室・空調機械室・ボイラー室・ポンプ室・監視室・倉庫などが設置される。

## 2 階（主階）

東南側から階段を昇ってきた利用者は，エントランス・ルームを経て中央ホールに導かれることになる。頭上は3階まで吹抜けとなっており，開放的な感じを受けるであろう。

**受付カウンター**：中央ホールに入るとすぐ右横がカウンターで，ここで利用者は館内利用案内のほか登録・貸出・返却・参考など職員による各種のサービスをうける。

**ロッカー・コーナー**：中央ホール右側にロッカー260人分を設ける。

**目録コーナー**：中央ホール左側，第一自由閲覧室の外壁に沿ってさしあたり教養部現蔵の図書約19万冊の目録カード（著者名別・書名別・分類別）を備える。

**ブラウジング・ルーム**：東南隅に新聞及び軽読書のための部屋として約50席を用意する。ここにはウォーター・クーラーを備付け，ややゴージャスな雰囲気のものとする。

**第1自由閲覧室**：南側のメイン・フロアで，学生の自習室を兼ねさせる。席数は約210。

**第2自由閲覧室**：第1自由閲覧室の予備室（同時使用，条件はやや悪いと予想される）として西北部に約60席。

**中央階段**：吹抜け部分の右側に設け，3階の開架図書室へは専らこれを利用する。空間に変化を与え，吹抜けの単調さを補うことになる。

**書庫入口**：学生・教職員が書庫に入る場合の専用階段に通ずる。ただしカウンターで所定の手続きを必要とする。

**複写室**：教職員のための電子複写機，マイクロフィルム・リーダープリンター，オフセット印刷機，製本機，スライド作製機などを備える。

**便所**：中央ホールの奥にトイレを設ける。

**管理部門**：北側から東北にかけて管理部門のスペースとなる。受付カウンター側から窓際に沿って閲覧掛・目録掛・受入掛と並び，館長室（兼応接室）職員休憩室，内側に更衣室・倉庫などが配置される。

## 3 階

**開架閲覧室**：南側の最も条件のいいスペースに学生用図書のすべて——指定図書・一般教養図書・参考図書等をオープン配架し，利用者は自由に閲覧できる。開架図書約50,000冊，席数約180を予定している。

**雑誌閲覧室**：北側に学生用として専門雑誌及び一般教養雑誌をオープン配架する。約200タイトルを見込み，席数は約40。

**視聴覚室**：西側に約64席分のスペースを設ける。備品として映写機，スライド，オーバーヘッド・プロジェクター，ビデオテープ，TVなどを置く計画で，正課の利用も可能にしたい。

**A V 室**：北側に個人的に視聴覚資料を利用する部屋として，テープレコーダーなどの機器を備える計画である。

**研究閲覧室**：教官用として内外の二次資料，抄録誌，索引誌，目録及び内外の学術雑誌，大学紀要，レポート類などを配架する。

**会議室**：内外の会議に利用する。

**便所**：身障者専用トイレはエレベーター横。通常のトイレは西側の奥に設ける。

以上である。施工段階でなお細部の変更ないし修正があることも予想される。完成時にはまた利用案内かたがたあらためてお知らせすることになる。

## おわりに

新分館の完成はおそらく来年3月頃となろう。したがって正式の開館は昭和55年の新学年度からということになるのではなかろうか。その間，教養部分館は旧地学教室に移転（すでに完了）し，最小限の機能を維持する。もっとも収蔵図書は教養部教官が必要に応じて一部を各研究室に収納しているほかは箱詰にして別置せざるを得なかった。そのためいろいろとご迷惑をおかけすることと思うが，事情ご理解のほどお願いしておきたい。

（なかむら・まさお：教養部分館長）

## 退官の辞(図書館職員へのことば)

岡田 六郎

さる4月5日離任式の前に30分程の時間を戴き、図書館を去るに当たっての話をしました。前例もなくどうかと迷いましたが、私の大学生活の最後であり、図書館に対する愛情と責任であると考え、話すことにしました。この一文は、それを纏めたものです。

歳月の流れは早いもので時間は知らぬ間に過ぎ去って行き、何時もはこのかけがえのない時間を余り意識しないものだが、定年という人生の節目に立って、時間の貴重さ、また何か空しさを感じる。

こうした場合のあいさつの極り文句は「幾十年間大過なく」という言葉であるが、私はこの言葉が余り好きではない。この30年間はいろいろのことがあり、喜びも悲しみも幾年月であった。私は無難に大過なく過ごそうと思ったことはない。寧ろ何時も何かを期待し、何かを求め、何かに挑戦して来た。

しかし、期待はずれの事が多く、求めたものは手に入らないことが多かった。しかし、挑戦することに生きがいを感じて来た。

敗戦によって大陸から見も知らぬ日本の地を踏み、生活のため神戸大学に就職したのが、大学生活のきっかけで、その後30年経過した。新聞広告で神戸大学の職員募集を見たのが運のつきというべきか。そんな訳で、とにかく食うため、これが一生の仕事になるとは思わなかった。常に今で言う「脱サラ」を夢みて、今に一旗あげようと思いつづけたが、諸々のことで実現せず今日に至った。とにかくまっしぐらに走って来た想いだ。

私はどちらかというと散文的な人間で、書でいうと楷書でなく、行書か草書でおおよそ役人的な柄でない。また出来るだけ官吏らしくない様努めて来た。私は刑事かブン屋に見られると自負していた。しかし、もう20数年も前に相模原市の知人をたずねた時、その奥さんに「役人」だとすぐ解りましたという言葉聞いて、愕然とし、環境というものは恐いものだと思った。

私は大学生活の大半は学生畑の仕事で、最後の2年間が図書館での仕事ということとなり、大変幸福だったと思っている。

図書館の仕事ははじめての仕事であり、最後の仕事となった。今、図書館を去るに当たって、口幅ったいし、説教めいて恐縮だが、私の役人生活の最後であり、図書館にかゝった一員の責任とし、図書館に対する愛情とし、皆様への激励と、餞別の言葉として三つのことを申し上げたい。

はじめの一つは専門ということ。

つぎの一つは自主性とやる気ということ。

最後の一つは本質を見あやまらないこと。

どの職業にもそれで飯を食っている専門家がいます。素人から見るとなる程流石と言った手並みを見せてくれるのが専門家だ。

現在の世の中の動き流れはまことに早い。昨日ブラウン管に登場していた歌手も今日はなく、今日歌っている歌手は明日はすでないこともある。昔に比べ世の中のテンポは数倍も早い。

世上図書館についてはいろいろの噂がある、専門性の強化から、教官を導入するという話もある。また情報の専門家も入って来るだろう。図書館大学も出来て高度の専門家の養成もなされている。図書館も刻々と変わりつゝあるということをしつかり認識してほしい。

理髪店でも寿司屋でも大工さんも皆それぞれのみちの専門家だ。もし理髪店で博多どんたくの歌の文句ではないが「ハイカラさんにつんでおくれ」に対しトラ刈では、お客は来ない。お客は少々顔がますぐとも「なるべくベッピンさんの好くように」と思っている。

新しい髪型、新しい技術、新しい器具をどんどん取り入れていかねば店ははやらない。

幸いというか不幸と言うか、図書館ではその専門の知識が足りなくとも、時代に遅れても、学生も教官も来てくれるが、こうしたことを長くやっていると図書館の存在価値はやがて失なわれる。

高い専門知識、新しい時代に対応する姿勢がなくてはならない。タコ壺の中に入った様なひとりよがりの専門家であってはならない。広い視野を持った常に新しい方向をめざす専門家でなくてはならない。自分の専門外のことにも関心を持ち、常に広い視野を養うよう心がけることが必要と信じる。

日本人は自主性に乏しく付和雷同の民族と思う、テレビで大河ドラマの舞台になると、山村や古びた町が一躍脚光を浴び、ミーチャンやハーチャンがワーッと押しかける。

数年前にボーリングが流行したが、ブームの去ったあと町のはずれに荒廃した建物が放置されたまゝなのを見ると、人の心のうつろい易さ、世の流れを見せつけられた様で、寂しい想いになる。私はこの付和雷同的なのは農耕民族のせいではないかと思う。「隣り百姓」と言う言葉があるが、篤農家の隣人の

やるのをそっくりまねていけばよい。隣が苗を植えれば自分のところも植え、隣が草をとれば自分もとる。隣りが耕運機を買えば、自分のところも買う。さらに農耕は水などの関係でどうしても共同精神を必要とする。

こうしたなかでは自主的であるよりも、人の眼が気になる。隣が米をつくれれば自分も作る、豊作貧乏というのは自主性のない悲劇でもある。図書館は大学のなかでは、波風のない入江の奥にある様なところであり、このためか沈滞し勝ちである。積極的にやる気を出して付和雷同ではなく自主的な判断で図書館の仕事に積極的に取組んでほしい。やる気を出してほしい。

ものの本質を見抜くことは難しい。この複雑な社会では、何かが本質であるかわからないことが多い。大学紛争ではこのことを痛感した、枝葉末節の議論が多かったのは本質が何かわからなかったせいではないか。人物についてもその人の表面だけでなくしっかりと本質を見抜かなければならない。表面の事象のみでなくその本質をとらえてほしい、何が大切で何が重要であるか、何を必要であるかをよく見る眼を養ってほしい。

「親子にしろ、夫婦にしろ、真の対話がはじまるのは、その人と死に別れた日からはじまる」と言われている。私が皆様のご厚情を身に泌みて解るのは九大を去ってから後、しみじみとわかるのだと思う。

大言海を編纂した大槻文彦さんは、この大事業に着手したのが66才の時と言う、このあと16年間82才でなくなるまで努められた。なくなったあとは弟子の方が完成したが、66才にしてあの大事業に打ちこむ気力、ファイトに心を打たれます。

私もこれに負けない斗志を燃やして、30年間考えて来た「脱官?」という果せなかった夢を実現したい。最後に皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈りし、九州大学・九州大学図書館の発展を心より願って止みません。

数々のご協力、ご援助を感謝します。

(おかだ・ろくろう：前 附属図書館事務部長)

## ◆ 研 修 報 告

### 漢籍担当職員講習会(第7回)に参加して

林 田 和 政

文部省及び東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センターの共催により、11月27日より12月2日の日程で、次の講義が行われた。(第1日)総論、経部。(第2日)子部、集部、叢書。(第3日)漢字の字形の変遷、新学。(第4日)漢籍目録法、実習。(第5日)実習、四角号码検字法、漢籍の見学及び解説。(第6日)討議及び情報交換。

以下講義内容を簡単に紹介する。

#### I 漢籍の定義

中国人の編著(訳)書で、かつ中国語で書かれたものをいう。他に辛亥革命以前のものに限定した狭義の解し方もあるが、東大や京大では前者の立場を取っている。ただし、分類に当っては、辛亥革命以前のものを旧学として、四部分類法に拠り、それ以後を新学として十進分類法に拠っている。

#### II 四部分類法

分類法は、漢代に「七略」が当時の学問体系、価値序列を表わしたものとして作成され、以後各時代の価値感等の差違により変化はあったが基本的には受け継がれて現在の四部分類に到っている。四部分類は大きく分けて、「経部」、「史部」、「子部」、「集部」の4部と、複数の分野に渡るものを収めた「叢書部」から成っている。

『経部』＝国を治め、身を修めるに必要な基本的な書物を集めている。

『史部』＝政治に直接関わっているもので、歴史に関するものが多い。中国では歴代、新王朝を起こしたものは、前王朝の歴史を書き記してきている。

『子部』＝原則として、私人の思想、技術に関するもので、儒家、法家、医家等であるが、他の「部」に属さないものはすべてここに収められているともいえる。

『集部』＝文学に属するもので、詩や詞曲等が収められている。

「経部」は前述の性格から、他の「部」と違った独立の分野というものではなく、例えば、編年史は「史部」であるが、その中でも春秋は「経部」であり、同じ儒家でも孔子は「経部」にあり、荘子は「子部」

に属している。また、孟子は初めは「子部」にあったが、後に「経部」へ格上げされてきている。ここは儒家思想の基本文献が収められている所である。

「四書五経」とは、これら経部の中でもさらに重要なものを選び出したものである。

「五経」とは①易経(易占)、②書経(春秋以前の歴史)、③詩経(詩歌)、④礼記(作法、儀礼)、⑤春秋(魯の歴史)の5つであり、漢代に五経博士が出来、以後官史の試験に合格する為にはこの五経を理解することが必須とされた。

「四書」とは、もと礼記の中にあった「大学」「中庸」(学問、政治、道徳)と「論語」「孟子」の4つである。これは、それまでの「五経」が初学者には理解しにくかったので、もっと一般的で分かり易くするためにと朱子が選定したものである。

### Ⅲ 漢籍目録法

記載事項は書名、巻数、編著名、出版事項の4つである。書名を取る場合、現在のものは標題紙や奥付けに拠っているが、漢籍では巻首(本文の首行)から取り、そこがないときは目次首、序文首、巻尾の順に取っていく。ここにもないときに初めて、現在の標題紙に当る封面や表紙に書名が書いてある題簽から記入することになる。これは、この部分が破損の為に取り換えられたり、個人で書名をかってに書くことがあって、全面的には信頼できないからである。ここから取らざるを得ない場合に異名が生じやすい。ただし、叢書については巻首に拠るべき書名がないのが普通である。

その他、編著名や出版事項が序文の中に含まれていたり、あるいは出版年が「光緒壬辰年」とあって、これが「清代、1832年」とは、年号索引や紀年表なる虎の巻がなければ理解できない。ほとんどが一筋縄でいかないものばかりである。

### Ⅳ 漢字の歴史

紀元前1500年頃に亀甲や獣骨に刻まれた「甲骨文」が現われ、周代になると銅器の銘文に「金文」が使用され、その後「大篆」へと変わっていった。秦代にはいと文字の統一が行われ、大篆を簡略化した「小篆」が使用されるようになった。いわゆる篆書とはこの小篆のことである。漢代にはさらに実用的にしたものとして「隸書」ができ、さらに「草書」、「行書」が現われている。漢末に「楷書」ができ、唐代の楷書の統一を経て今日に及んでいる。

「小篆」は印章に多く利用されていることから印章を刻むことを「篆刻」ともいう。他に碑文にも使用されている。漢籍においても題簽、封面、刊記が「小篆」で書かれているものがある。

### Ⅴ 四角号碼檢字法

今まで漢字は部首や画数で調べるものばかり思っていたが、この檢字法なるものでは、漢字の4スミを筆画の形状で調べる。この筆画の形状を十種に分け、それぞれに0から9の番号を与え、4ケタの数字で漢字を表わす。そしてこれは番号順に並べてある。この方法だと部首や画数をはっきりしなくても一目見て解かる仕掛けになっている。この十種の形状を覚えてしまえば、漢和辞典での検索に比べてはるかに速くなる。(例、白=2600、鶴=4702)

最後にセンター所蔵の漢籍を展示していただき、実物をもとに、各時代の文字の特徴や、木版刷、木活字、銅活字の見分け方等の解説がありました。

なお、参加は18大学、4図書館、1資料館より24名でした。受講しての感想は「難しい!」の一言に尽き、頭を抱えたままの6日間でした。  
(はやしだ・かずまさ:法学部図書掛)

## 本学教官著作寄贈図書

### <中央図書館>

井上 祐司 (法学部教授)

因果関係と刑事過失

昭54 成文堂 ¥2,800

(二部)

戸崎 宏正 (文学部助教授)

仏教認識論の研究 — 法称著「プラマーナ・ヴァールティカ」の現量論 — 上巻

昭54 大東出版 ¥7,500

## 資料紹介

昭和53年度「外国雑誌購入費」による自然科学系学術雑誌  
(第1種及び第2種)の購入について

昭和52年度に引き続き、53年度の「外国雑誌購入費」として第1種850万円(52年度650万円)、第2種740万円(52年度340万円)合計1,590万円の予算の配当を受けた。(図書館情報 第13巻4号参照)このため、本年度の増額分第1種200万円、第2種370万円分の購入誌の選定を行って別表(1)、(2)のとおり決定された。

選定の経過は第1種については附属図書館が作成した学内未所蔵新刊外国雑誌497誌のリストにより自然科学系学部、附置研究所、文学部、教育学部及び経済学部からの購入希望に基づき10月5日(木)の自然科学系外国雑誌委員会で検討した結果、リストのうちで3部局以上からの購入希望誌59誌及び附属図書館が「外国雑誌委員会」から一任されて選定した25誌の合計84誌(うち2誌が廃刊)を選定した。

第2種については、本年度は特に選定の基準として全国サブ・センターとしての機能と、国内に未所蔵のものを重点的に収集する計画を立て、全国センター館である大阪大学を中心として全国サブセンター館である東北大学と本学相互間で調整を行い、大阪大学、東北大学及び九州大学で作成したNew Journalのリストを突合して、新しいリストを作成し三大学でそれぞれ分担収集することにした。

その結果、New Journalについては九州地区国立大学医・歯・薬学系の関係8大学(九大を含む)へ「国内で未所蔵の新刊外国雑誌リスト」を配布し、購入希望の調査を行った結果、九州地区内において特に希望が多かった50誌を選定し、更にRare Journalとして大阪大学で作成した主要二次資料収録誌(C. A., E. M. etc)に掲載されている学術雑誌で国内に未所蔵のもの1099誌のうち、本学では157誌を選定し、入荷状況をも考慮し、別途34誌を加え合計241誌(うち3誌が廃刊)を昭和53年度から備付けることにした。

## 学内共同利用のための購入外国雑誌リスト

## 1. 中央図書館に配架するもの

1. American Journal of Physics. (A) M.
2. Analytica Chimica Acta: Computer Techniques and Optimization. (H) Q.
3. Antenna: Bulletin of the Royal Entomological Society. (E) Q.
4. Biobehavioral Reviews. (A) Q.
5. Bioelectrochemistry and Bioenergetics. (S) Q.
6. Canadian Journal of Civil Engineering. (C) Q.
7. Cellular & Molecular Biology. Including Cytology. (E) Q.
8. Chemical Senses and Flavour. (E) Q.
9. Computers & Chemistry. (E) Q.
10. Computers & Graphics. (E) Q.
11. Computers & Mathematics with Applications. (E) Q.
12. Current Advances in Genetics. (E) M.
13. Developments in Cell Biology. (H) Q.
14. Drug and Chemical Toxicology. (A) Q.
15. Ecological Modelling: International Journal on Ecological Modelling & Engineering and System Ecology. (H) 3 Nos.
16. Environmental Psychology & Nonverbal Behavior. (A) S-A.
17. Enzyme and Microbial Technology. (E) Q.
18. Ethology and Sociobiology. (A) Q.
19. European Spectroscopy News. (E) B-M.
20. Habitat. (E) B-M.
21. Hearing Research. (H) Q.
22. Journal of Aerosol Science. (A) 6 Nos.
23. Journal of Applied Behavior Analysis. (A) Q.
24. Journal of Biochemical and Biophysical Methods. (H) B-M.
25. Journal of Chromatography. (H) 12 Nos.
26. Journal of Entomological Research. (IN) S-A.
27. Journal of General Chemistry of USSR. English Translation. (A) S-M.
28. Journal of High Resolution Chromatography & Communications. (G) B-M.
29. Journal of the Society of Architectural Historians. (H) 4 Nos.
30. Journal of Systems and Software. (A) Q.
31. Kraftsfahrzeugtechnik. (G) M.
32. Liquid Crystals and Oriented Polymeric Melts. (E) Q.
33. Marine Chemistry: An International Journal for Studies of All Chemical Aspects of the Marine Environments. (H) 8 Nos.
34. Materialprüfung. (G) M.
35. Materials Engineering. (A) M.
36. Mathematical Intelligencer. (G) Q.
37. Mathematics of Operations Research. (A) Q.
38. Metalloberfläche. (G) M.
39. Non-Linear Analysis: Theory, Methods & Applications. (E) B-M.
40. Nuclear Energy. (E) Q.
41. Nuclear Safety. (A) B-M.
42. Nuovo Cimento. Section C: Geophysics. (I) B-M.



43. Oceanologica Acta. (F) B-M.
  44. Precision Metal. (A) M.
  45. Progress in Crystal Growth and Characterization. (E) Q.
  46. Prostaglandins. (A) B-M.
  47. Radiation Physics and Chemistry. (E) M.
  48. Reviews of Chemical Intermediates. (G) Q.
  49. Sensory Processes. (A) Q.
  50. Separation and Purification Methods. (A) 2 Nos.
  51. Solid-Phase Biochemistry. (A) Q.
  52. Staub Reinhaltung der Luft. (G) 12 Nos.
  53. Trends in Neurosciences. Library Edition. (H) 12 Nos.
  54. Tribology International. (H) B-M.
2. 医学分館に配架するもの
1. Behavior Genetics. (A) Q.
  2. Behavioral and Brain Sciences. (E) Q.
  3. Cancer Chemotherapy and Pharmacology. (G) Q.
  4. Cancer Immunology & Immunotherapy. (G) 8 Nos.
  5. Clinical and Investigative Medicine. (E) Q.
  6. Comparative Immunology, Microbiology and Infectious Diseases. (E) Q.
  7. Computer Programs in Biomedicine. (H) 6 Nos.
  8. Current Microbiology. (G) B-M.
  9. Developmental & Comparative Immunology. (E) Q.
10. Developmental Neurobiology. (A) M.
  11. Developmental Neuroscience. (S) B-M.
  12. Environmental Biology and Medicine. (E) Q.
  13. Experimental Aging Research. (A) B-M.
  14. Food and Nutrition. (I) 2 Nos.
  15. Hormone & Metabolic Reserach. (G) B-M.
  16. International Journal for Vitamin & Nutrition Research. (S) Q.
  17. Journal of Antimicrobial Chemotherapy. (E) B-M.
  18. Journal of Biomedical Engineering. (E) Q.
  19. Journal of Medical Virology. (A) 4 Nos.
  20. Journal of Toxicology and Environmental Health. (A) B-M.
  21. Molecular Aspects of Medicine: An Interdisciplinary Review Journal. (E) 6 Nos.
  22. Neurochemical Research. (A) 6 Nos.
  23. Ultramicroscopy. (H) 8 Nos.
3. 教養部分館に配架するもの
1. Computer Languages. (E) Q.
  2. Human Nature. (A) M.
  3. Proceedings of Steklov Institute of Mathematics. English Translation. (A) Q.
  4. Transactions of Moscow Mathematical Society. English Translation. (A) S-A.
  5. Водные Ресурсы

### 九州地区内共同利用のための購入外国雑誌リスト(医・歯・薬学系)配架場所は医学分館

1. Acquisitions Nouvelles en Pathologie Cardio-vasculaire. (F) 6 Nos.
2. Acta Gerontologica. (I) Q.
3. Acta Medica Auxologica. (I) 3 Nos.
4. Acta Paediatrica Latina. (I) 6 Nos.
5. Acta Therapeutica. (BE) Q.
6. Acta Zoologica Academiae Scientiarum Hungaricae. (HU) 4 Nos.
7. African Journal of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences. (E) M.
8. Aggiornamento Pediatrico. (I) M.
9. Alaska Medicine. (A) B-M.
10. American Archives of Rehabilitation Therapy. (A) Q.
11. Anais Brasileiros de Dermatologia. (B) Q.
12. Anales Espanoles de Pediatria. (SP) B-M.
13. Anales de la Real Academia de Farmacia. (SP)
14. Anesthesiologie und Reanimation. (G) 4 Nos.
15. Anatomia Clinica. English Edition. (G) 4 Nos.
16. Anatomia Histologia, Embryologia. (G) 4 Nos.
17. Animal Production. (E) B-M.
18. Annales de Medecine Physique. (F) Q.
19. Annales de Zoologie, Ecologie Animale. (F) 4 Nos.
20. Annali Italian di Pediatria. (I) B-M.
21. Annali di Radiologia Diagnostica. (I) B-M.
22. Apothecary. (A) M.
23. Archives d'Anatomie et de Cytologie Pathologiques. (F) 6 Nos.
24. Archives Mediterraneennes de Medecine. (F) 36 Nos.
25. Archivos Argentinos de Dermatologie. (AR)
26. Archivos de Oftalmologia de Buenos Aires. (AR) B-M.
27. Argus des Pharmaciens. (F) S-M.
28. Artificial Organs. (A) Q.
29. ASAIO. (A) B-M.
30. Attualita dei Ostetricia e Ginecologia. (I) B-M.
31. Australian Journal of Pharmacy. (AU) M.
32. Balneologia Bohemica. (CZ) Q.
33. Biologia. (HU) 2 Nos.
34. Biologie in Unserer Zeit. (G) B-M.
35. Bioorganicheskaia Himia. (R) M.
36. Boletin de la Sociedad Vasconavarra de Pediatris. (SP)
37. Bordeaux Chirurgical. (F) Q.
38. British Homeopathic Journal. (E) Q.
39. Canadas Mental Health. (C) B-M.
40. Cancer Clinical Trials. (A) 4 Nos.

41. Cancer Nursing. (A) B-M.
42. Cardiology: Update. (A) M.
43. Cardiology Digest. (A) M.
44. Cardiovascular Medicine. (A) M.
45. Chemotherapy, Toxicology and Metabolic Inhibitors. (E)
46. Chirurgia Maxillofacialis and Plastica. (YU) 3 Nos.
47. Chromatography Communications. (G) M.
48. Clinical Cardiology: International Journal for Cardiovascular Diseases. (A) 6 Nos.
49. Clinical & Experimental Dermatology. (E) 2 Nos.
50. Clinical & Laboratory Haematology. (E) Q.
51. Clinician. (IN) M.
52. Community Medicine. (E) Q.
53. Computers & Chemistry. (E) Q.
54. Contemporary Psychiatric Education. (A) 2 Nos.
55. Contemporary Psychology. (A) M.
56. Cronache Farmaceutiche. (I) B-M.
57. Current Therapeutics. (A) M.
58. Developmental Genetics. (A) 4 Nos.
59. Developments in Industrial Microbiology. (A)
60. Diagnostic Medicine. (A) Q.
61. Drug Dependence (H) M.
62. Ecodevelopment; the International Interdisciplinary Journal of Development Based on. (E) Q.
63. Ecotoxicology and Environmental Safety. (A) Q.
64. Egyptian Journal of Bilharziasis. (EGYPT) S-A.
65. Electrochemistry in Industrial Proceeding and Biology. (A) B-M.
66. Emergency Care News. (A) M.
67. Emergency Medical Technician Journal. (A) Q.
68. Endocrine Reviews. (A) Q.
69. Environmental Mutagenesis. (A) Q.
70. Environmental and Planning. (E) M.
71. Enzyme and Microbial Technology. (E) Q.
72. Epatologia. (I) B-M.
73. Europa Medica. (I) Q.
74. European Journal of Applied Microbiology and Biotechnology. (G) Q.
75. European Journal of Rheumatology and Inflammation. (E) 3 Nos.
76. Farmaceutisk Tidende. (D) W.
77. Farmaco Edizione Scientifica. (I) M.
78. Feuilles de Biologie. (F) B-M.
79. Fortschritte Verhaltensforschung. (G) B-M.
80. Gaceta Medica Espanola. (SP) M.
81. Gamete Research. (A) Q.
82. Geographia Medica. (HU) Irrg.
83. Gesundheitspolitische Umschau. (G) M.
84. Giornale del l'Arteriosclerosi. (I) B-M.
85. Giornale Italiano Malattie del Torace. (I) B-M.
86. Gruppenpsychotherapie und Gruppendynamik. (G) 4 Nos.
87. Gyermekgyogyaszat. (HU) Q.
88. Hacettepe Bulletin of Medicine-Surgery. (TU) Q.
89. Health Values: Achieving High Levels. (A) B-M.
90. Heart. (AU) Q.
91. Himia Geterociklecheskih Soedinenii. (R) M.
92. Hospital Administration in Canada. (C) M.
93. Hospital General. (SP) B-M.
94. Hospital Update. (E) M.
95. Hospitalia. (BE) Q.
96. Hypertension. (A) 6 Nos.
97. Idegyogyaszti Szemle. (HU) 12 Nos.
98. Immunologia Polska. (PO) M.
99. Immunopharmacology. (A) Q.
100. Indian Journal of Helminthology. (IN) S-A.
101. Indian Journal of Otolaryngology. (IN) Q.
102. Indian Medical Journal. (IN) M.
103. Infirmiere Canadienne. (C) M.
104. Informatore Farmaceutico. (I) B-M.
105. International Journal of Behavioral Development. (H) Q.
106. International Journal of Environment. (E) S-A.
107. International Journal of Immunopharmacology. (E) B-M.
108. International Journal of Invertebrate Reproduction. (H) 6 Nos.
109. International Journal of Rehabilitation Research. (G) Q.
110. Ion Exchange and Membranes. (E) 4 Nos.
111. Irrigation Science. (G) Q.
112. Italian General Review of Dermatology. (I) B-M.
113. Journal of Affective Disorders. (H) Q.
114. Journal of the American Academy of Dermatology. (A) M.
115. Journal of the American Academy of Psychoanalysis. (A) Q.
116. Journal of the American Emergency Physician and the University Association for Emergency Medicine. (A) M.
117. Journal of the American Institute Hypnosis. (A) B-M.
118. Journal of Applied Biochemistry. (A) B-M.
119. Journal of Brasileiro de Psiquiatria. (B) Q.
120. Journal of Cardiovascular Diseases. (A) B-M.
121. Journal of Cardiovascular Pharmacology. (A) B-M.
122. Journal of Communicable Diseases. (IN) Q.
123. Journal of Developmental Physiology. (E) B-M.
124. Journal of Electrophysiological Technology. (A) Q.

125. Journal of Environmental Pathology and Toxicology. (A) B-M.
126. Journal of Environmental Physiology and Toxicology. (A) B-M.
127. Journal of Ethnopharmacology. (S) Q.
128. Journal of Infection. (E) Q.
129. Journal of Microsurgery. (A) B-M.
130. Journal of Pediatric Orthopedics. (A) Q.
131. Journal of Pharmaceutical and Medical Science. (H) B-M.
132. Journal of Pharmacological Methods. (A) Q.
133. Journal of Psychology and Judaism. (C) Irrg.
134. Journal of Radioimmunoassay. (A) Q.
135. Journal of Reproductive Immunology. (H) 6 Nos.
136. Journal of Research in Personality. (A) 4 Nos.
137. Journal Sex & Marital Therapy. (A) Q.
138. Journal of Total Health Education. (A) 2 Nos.
139. Journal of Venereal Diseases. (A)
140. Journal of Visual Impairment and Blindness. (A) 10 Nos.
141. Jugoslavenska Cinekologija i Opstetricija. (YU)
142. Kiserletes Orvostudomány. (HU) B-M.
143. Labo-Pharma. (F) M.
144. Libri Oncologici. (YU) Q.
145. Location Review. (A) Q.
146. Lung Biology in Health and Diseases. (A)
147. Lyon Pharmaceutique. (F) B-M.
148. Lysosomes. (E) B-M.
149. Magyar Onkologia. (HU) 4 Nos.
150. Mb der Arzt. (G) M.
151. Medical Group Management. (A) B-M.
152. Medicina Cutanea Ibero-Latino-Americana. (PT) B-M.
153. Medicina nei Secoli. (I) Q.
154. Medecine du Nord Est. (F) M.
155. Medico-Legal Bulletin. (A) M.
156. Medizinal Markt. (G) M.
157. Medizinisch Psychologie; Lehre Forschung und Klinik. (G) 3 Nos.
158. Michigan Medicine. (A) 36 Nos.
159. Minerva Dermatologica. (I) M.
160. Minerva Ecologica e Idroclimatologica. (I) Q.
161. Minerva Neurochirurgica. (I) Q.
162. Modern Medicine of New Zealand. (NZ) M.
163. Myopathie. (BE) Q.
164. Nederlands Tijdschrift voor Pysiotherapie. (H) Q.
165. New Zealand Journal of Physiotherapy. (NZ) S-A.
166. Nuovo Archivio Italiano di Otologia, Rinologi e Larinologie. (I) Q.
167. Nurse Educator. (A) B-M.
168. Nurses Drug Alert. (A) M.
169. Obstetrica si Ginecologia Latinoamericana. (AR) A.
170. Oesterreichische Zeitschrift fur Onkologie. (O) B-M.
171. Onkologie. (S) B-M.
172. Orvostudomány. (H) Q.
173. Osterreichische Krankenkau-Zeitung. (O) M.
174. Pakistan Heart Journal. (PA) Q.
175. Paracelsus; Archiv der Praktischen Medizin. (O) M.
176. Parasite Immunology. (E) Q.
177. Pathologicheskaya Fiziologiya i Eksperimentalnaya Terapiya. (R) B-M.
178. Pediatria. (CO) Q.
179. Pediatric Cardiology. (G) Q.
180. Pediatria, Akusherstvo ta Ginekologiya. (R) B-M.
181. Pharmazeutische Rundschau. (G) M.
182. Physiologie Vegetale. (F) 4 Nos.
183. Plantes Medicinales et Phytotherapie. (F) Q.
184. Pochvovedenie. (R) M.
185. Polskie Archiwum Hydrobiologii. (OP) Q.
186. Praxis der Psychotherapie. (G) B-M.
187. Problemy Alkoholizmu. (PO) M.
188. Proceedings of the Clinical Dialysis and Transplant Forum. (A)
189. Prostaglandins & Medicine. (E) M.
190. Psihijatrija Danas. (YU) Q.
191. Psychiatric Journal of the University of Ottawa. (C) Q.
192. Psychological Issues. (A) Irrg.
193. Psychopharmacologie; with Supplement to Encephale. (F)
194. Publication - Group for the Advancement of Psychiatry. (A)
195. Quintessence Journal. (A) 10 Nos.
196. Radiologia Medica. (I) M.
197. Rassegna ed Archivio di Chirurgia. (I) 36 Nos.
198. Rassegna di Studi Psichiatrici. (I) B-M.
199. Rehabilitation Gazette. (A) A.
200. Reviews in Analytical Chemistry. (IS) Q.
201. Reviews in Perinatal Medicine. (E)
202. Revista Chilena de Neuro-Psiquiatria. (CHILE) Q.
203. Revista Espanola de Reumatismos. (SP)
204. Revista de Ginecologia e d'Obstetricia. (B) B-M.
205. Revista Medica de Costa Rica. (COSTA RICA) Q.
206. Revista de Microscopia Electronica. (V) Q.
207. Revista de Obstetricia y Ginecologia de Venezuela. (V) Q.
208. Revista Portuguesa de Estomatologia e Cirurgia Maxilofacial. (PT)
209. Revista de Psiquiatria Dinamica. (PT) Q.
210. Revue Française de Gerontologie. (F) B-M.
211. Revue Hospitaliere de France. (F) M.

212. Ricerca in Clinica e in Laboratorio. (I) Q.  
 213. Rivista di Chirurgia del Piede. (I) Q.  
 214. Rivista Italiana di Chirurgia Plastica. (I) Q.  
 215. Rivista di Neurobiologia. (I) Q.  
 216. Rivista di Patologia Clinica. (I) M.  
 217. Rivista di Storia della Medicina. (I) S-A.  
 218. Roczniki Chemii. (PO) M.  
 219. Scanning: International of Scanning Electron Microscopy and Related Methods. (A) 6 Nos.  
 220. Sciences et Techniques Pharmaceutiques. (F) M.  
 221. Sex Roles. (A) 6 Nos.  
 222. Soil Biology and Biochemistry. (E) B-M.  
 223. Svensk Farmaceutisk Tidskrift. (SD) 36 Nos.  
 224. Swedisch Dental Journal. (SD) 4 Nos.  
 225. Taxon. (H) 6 Nos.  
 226. Texas Hospitals. (A) M.  
 227. Tobacco. (E) M.  
 228. Topics in Health Care Financing. (E) Q.  
 229. Travaux de la Societe de Pharmacie de Montpellier. (F) Q.  
 230. Universitas. (G) M.  
 231. Urologic Radiology. (G) 4 Nos.  
 232. Vakblad voor Biologen. (H) S-M.  
 233. Veterinary Microbiology. (H) 4 Nos.  
 234. Veterinary Times. (SA) B-M.  
 235. Vie et Milieu. Ser. C. Biologie Terrestre. (F) 6 Nos.  
 236. World Review of Animal Production. (I) Q.  
 237. Zeitschrift für Angewandte Zoologie. (G) Q.  
 238. Zeitschrift für Pflanzenkrankheiten, Pflanzenpathologie, und Pflanzenschutz. (G) M.

(附属図書館整理課雑誌掛)

利 用 の 窓

### 文献複写業務の新方式実施について

国立大学相互間における文献複写業務が、昭和54年度から「国立大学等図書館相互における文献複写業務実施要項」に基づいて行われることになりました。このことについては学内の通知などで既にご存じの通りですが特に改善された点は料金の精算が校費・私費共に予算の振替で行われるようになったことです。このことは学内的には校費の移算と私費の窓口収納ということになります。即ち、従来の方式では校費によるものは複写物が送られてくる度に各部局において支出負担行為事務を行っていましたが国立大学間においてはそれが学内校費の移算で処理されることになります。又、私費によるものは依頼先から料金の通知があり、しかもそれをつり銭のいらぬ様にして現金書留で送金しその後ようやく複写物を入手するという形がとられていましたが、新方式では申込者は本人が所属する大学の窓口（文献複写依頼の窓口）で料金を支払うと同時に複写物を入手することになります。つまり特に私費による申込については時間も経費もそして手間も大きくはぶかれることになります。

この新方式での依頼の窓口と対象部局および取扱い要領は次の通りです。

#### (1) 窓 口

中央図書館が窓口となる部局：文・教育・法・経済・理・工・農各学部、教養部、大学院総合理工学研究科、応用力学研究所、石炭研究資料センター、生産科学研究所、生物環境調節研究センター、熱帯農学研究センター、情報処理教育センター、大型計算機センター、健康科学センター等（箱崎キャンパス及び教養部に所属する教職員・学生は中央図書館が学外への文献複写申込の窓口となります。申込の際の手続は今まで通りです。温泉治療学研究所の分については、同研究所を経由して中央図書館が受付けます。）

医学分館が窓口となる部局：医・歯・薬各学部、附属病院及び医療技術短期大学部

#### (2) 複写物の引渡し

複写物は窓口で検収し校費によるものは料金通知書（又はその写しなど）を添付して申込者（又は図書掛）へ渡します。私費によるものは窓口で料金を支払ってください。引き換えに複写物を渡します。

#### (3) 精 算

校費によるものは従来の納入告知書による支出でなく窓口である中央図書館及び医学分館からの学内校費移算によって処理されます。中央図書館では移算請求を従来の中央図書館で複写したものの学

内校費の移算請求と同様に四半期毎に行いたいと思います。

なお、この新方式はあくまでも国立学校校費による予算の振替による料金精算が前提となっていますので国立国会図書館や公私立の大学図書館は適用対象外となります。このため文献複写業務の処理はやむを得ず二本建になりますのでご注意ください。  
(附属図書館閲覧課相互利用掛)

## お知らせ

### 昭和54年度 中央図書館指定図書の推せんについて

本年度も中央図書館に備え付ける指定図書を、例年どおり、箱崎キャンパス7学部(文・育・法・経・理・工・農)約300講座の教官の方々に、1講座3万円の範囲内でご推薦をお願いいたしました。

中央図書館に指定図書が始めて備え付けられたのが昭和37年ですから今年で18年になります。お蔭様で指定冊数も年々増加しており、学生の利用度も高まってきました。教官と中央図書館と学生が一体となって教育効果を高めようとするこの制度の意義を、教官各位におかれましては、ご理解の上、いっそうのご協力をお願いいたします。

## ◆ 目 録

### 会 議 等

- 1.11 会計部内監査
- 1.18 分館長会議
- 1.19 図書館職員研修会(マイクロ資料に関する講習)
- 1.24 図書館職員研修会(図書館短期大学 松村助教 授講演)
- 2. 1 昭和54年度国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会 於東京大学
- 2. 2 国立大学図書館協議会理事館連絡会議 於東京大学
- 2.13 図書館運営連絡会(中央図書館, 理学部, 農学部)
- 2.16 福岡県・佐賀県大学図書館協議会 第3回福岡地区研究会 於福岡工業大学
- 2.21 近世古文書研修会
- 2.26 近世古文書研修会
- 3.16 図書系掛長会議
- 3.24 全学図書系掛長研修会

### 来 館 者

- 1.11 筑波大学図書部 宮坂和書係長
- 2. 6 長崎大学附属図書館 東運用係長

- 2. 8 名古屋工業大学附属図書館 熊沢参考係長, 丹羽閲覧係長
- 2.21 鹿児島大学附属図書館 山下総務係長外2名
- 2.26 東北大学附属図書館 武蔵庶務掛長外2名
- 2.26~3. 1 農林水産技術会議事務局筑波事務所研究情報課 和泉技官外1名
- 2.27 東京大学建築学科 宮崎助手
- 3. 7 京都大学附属図書館 酒井閲覧課長
  - 〃 大阪市立大学附属図書館 光濟整理係長
  - 〃 大分大学附属図書館 小森係員
- 3.13 京都大学附属図書館 渡辺総務課長
  - 〃 名古屋大学 河原施設部長外1名
  - 〃 京都工芸繊維大学附属図書館 勝西運用係長
- 3.15 熊本大学 千羽第一予算係長外1名
- 3.22 慶尚大学長 尹泰圭
- 3.23 東京学芸大学附属図書館 岩淵閲覧係長
  - 〃 宮崎大学附属図書館 井上事務長
  - 〃 大分大学附属図書館 石原事務長
- 3.27 文部省学術国際局情報図書館課 遠山課長, 稲森大学図書館係長
  - 〃 浜松医科大学附属図書館 福島係員
  - 〃 京都教育大学附属図書館 森田係員
  - 〃 東京大学附属図書館 秋谷閲覧課長
- 3.28 熊本大学附属図書館 高見係員外1名

編集委員 主査・長谷川信彦 委員・福永 寿夫, 三嶋 博義(中央図書館), 河上 保(医学分館), 久保 昭夫(教養部分館), 長 和栄(文), 友納 昭二(農)

九州大学附属図書館報「図書館情報」Vol. 15, No. 1(通巻114号)

1979年3月31日発行・発行人 岡田 六郎

発行所 九州大学附属図書館・福岡市東区箱崎6丁目10番1号・〒810②・電話代表(641)1101 内線5310